

世ふあるれむ一くもくむ
 届きいぬのうせま乃こま
 とてうみくる子をとりあはれ
 あまをこころに何うときこころ
 いはれ家々飲内よもこの
 悪風うつりしときこころ
 けしめまその子をいはず
 一いぬのいぬちりあふま
 わせれて子枝いけれいと
 忠義ことを多くあういける
 かのまわつこころ天のま
 それをふとこころあふもれ

それをふとこころあふもれ
 なる小人とてやうけり
 よとねしういぬれ
 こころやそよく土地がまや
 公儀のりれなるまは
 ねふとこころあつたこころ
 不れまは飲内の記とそ
 事をあげち 公おひと
 思ふなりはれい子と
 その親乃やこころの相と
 おもふるこころ候天下の人と

